

気候投資基金に関する G8 財務大臣声明のポイント
(クリーン・テクノロジー基金及び戦略気候基金)
[2008 年 6 月 14 日 於 大阪]

1. 我々 G8 財務大臣は、「クリーン・テクノロジー基金」及び「戦略気候基金」を含む、新たな「気候投資基金」の立ち上げを歓迎し、支持する。我々は、途上国の開発ニーズに整合的な形で気候変動に取り組む途上国を支援することにコミットする。
2. 気候変動に関する政府間パネルの第 4 次評価報告書では、気候の温暖化は疑う余地はなく、排出削減が遅れば、より低いレベルで（温室効果ガス濃度を）安定させる機会を失い、先進国及び途上国の双方においてより深刻な気候変動の影響によるリスクが増す、としている。途上国が経済の拡大や貧困削減に取り組む中、そのエネルギー需要は急速に増大する。G8 財務大臣は、途上国が低炭素成長路線に向かうことを支援するための緊急で協調した行動が必要であることを確信する。我々は、気候変動の取組において、指導的役割を示すべき我々の責任を受け入れる。
3. クリーンエネルギーへのアクセス提供、適応、及び森林減少への対処のためには、大規模な投資が必要となる。主要な資金源は民間セクターであるべきであり、それは市場の機能を高めてコストを最小化し、既存の低炭素技術を利用するインセンティブを与える政策により導かれることが必要である。公的な資金も、気候変動に取り組むための投資を触媒するものとして、途上国の努力を支援するために不可欠である。
4. 我々は、先月ドイツのポツダムで開催された「気候投資基金」の枠組み作りに関する最後の会合において、ドナー国側と受益国側の間で支持と意見の一致が得られたことを歓迎する。同会合は、来月に予定されている世界銀行の理事会による基金設立の道を整えた。
5. 我々は、気候変動のために緊急に行動する必要性を認識し、（他の）国際開発金融機関（MDBs）と協調して世界銀行が管理する、「クリーン・テクノロジー基金」及び、気候変動への耐性力強化のためのパイロットプログラムや森林投資プログラムを含む「戦略気候基金」の立ち上げを支持する。これらの基金は、既存のバイ及びマルチの取組、特に地球環境ファシリティ（GEF）や適応基金とよく協調しながら運営される。
6. 「クリーン・テクノロジー基金」は、より安価だが環境には好ましくない手段に代わり、商業的に利用可能でよりクリーンな技術を普及させ、低炭素経済への移行を図るための追加的費用を支援することで、途上国の排出の増加を減速させることを目指す。この資金供与は、途上国がよりクリーンな開発路線に乗ることを助ける、低炭素目的を含む国家開発計画を支援する投資に対して行われる。
7. 「戦略気候基金」は、より脆弱な途上国が気候変動への耐性を確保しつつ、気候変動に適応するためのプログラムを策定することを支援したり、森林減少の防止のための活動を行う。またこの基金は、気候変動への投資に関して、ドナー国と受益国の間の対話を容易にし、二国間、民間セクター、及び市民社会からの支援を促す。
8. G8 は、国連の気候プロセスが 2013 年以降の成果について合意をする交渉の場として適切なフォーラムであることを認識し、バリ行動計画に基づき、全ての主要経済国が実効的に関与する形で、成功裡の終結を得ることに貢献することを再確認する。この観点から、新たな「気候投資基金」は国連気候変動枠組条約の交渉を阻害するものではなく、また、途上国が提案する緩和にかかる国家計画と整合的である必要がある。「気候投資基金」は、2013 年以降の枠組みにおける新たな資金システムが有効となるまでの暫定措置として、差し迫った資金ギャップを埋める。
9. 我々は、他の国に対し、経済成長と気候変動という二つの課題に取り組む途上国を支援する「気候投資基金」や GEF などの他の多国間基金を支持することを呼びかける。